

夷 夷谷の寺社群

豊後高田市の夷地区には 2 つの寺と 1 つの神社があり、互いに隣り合っています。国東半島で一般的な神仏習合の一例です。中世には、夷谷全体が夷岩屋の寺社境内に含まれているとみなされていました。現在もある寺や神社は、かつてその一部でした。

左には霊仙寺があり、朱塗りの鐘楼門を備えています。神社を守る石像として、2 体の仁王像があります。霊仙寺には、長さが 6m を超える大型の地藏菩薩もあります。隣の実相院には、最大の国東塔があります。これは、国東半島で一般的に見られる宝塔です。右には、六所神社があります。神社の隣に並ぶ 6 つの大木は、6 つの神を表しています。